② ① ⑤ ① 信州 2021 年度実施結果 ゼロカーボンチャレンジ!

このチャレンジは、家庭でできる地球温暖化防止を行うとともに、2050年のゼロカーボンに向けて今からどんなことができるか、という課題に子どもたちがチャレンジするプログラムとして作成しました。昨年度の先行実施を受け、今年度は県内全域の小中学校から参加を募り、子どもたちに冊子[表紙写真右]を配布して、夏休みを中心に家庭で挑戦してもらいました。

●参加数

その結果、学校 21 校 (小学校 17 校、中学校 4 校)、個人 2 名、小学 1 年 生から中学 3 年生まで 1,191 名の児童・生徒に参加いただきました。

[円グラフ上]

さらに、「**私の 2050 ゼロカーボン**」という題で、現在取り組んでいること、こ

れからやってみたいことなどを書いてもらう「プラスチャレンジ」には 558 名に応募いただき、200 名に記念品をお贈りしました。→3~4 頁をご参照ください。

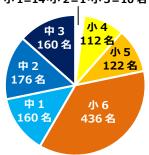
●取り組みの広がり

なお、長野市および県佐久地域振興局では、「プラスチャレンジ」をそれぞれ、地球温暖化をテーマにした環境標語、ゼロカーボンを達成した「2050年のあなたの街」の未来予想(記述またはイラスト)に変更し、「長野市版」[表紙写真右]・「佐久地域版」として取り組んでいただきました。

② ○ 5 ○ 《信州 2021年4

学年別応募者数

小 1=14・小 2=1・小 3=10 名



チャレンジ2

ூ 35%

((1)

6%

(

13%

(5)

24%

え 22%

●チャレンジ1・2の結果

●チャレンジ1 やってみよう!お家で地球温暖化防止

チェックリストにある「冷蔵庫の開け閉めは短く」「なるべく家族一緒の部屋で 過ごす」など 24 項目から 5 項目選んで 7 日間チャレンジしてもらいました。

このチャレンジでは、できた数を記入してもらいますが、最大 35 点 (5 項目×7日)のところ、全参加者の平均は 29 点でした。

❷チャレンジ 2 調べてみよう!2050ゼロカーボンへの道

次の

あ〜

おから 2 つ選び、「ワークシート」に記入しながらチャレンジしてもらいました。

- あ パンフレット『地球、だいじょうぶ? 長野県と地球温暖化』を読んで、地球温暖化についてくわしくなろう
- 「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」で、お家の屋根でどのくらい太陽光発電できるか調べよう
- ⑤ 信州産の野菜・果物を食べて、「おいしい信州ふーど de ビンゴ」に挑戦しよう
- 気 付録のかるたで「環境マーク探検」をしよう
- お ごみを減らそう&食品ロスをなくそう

このチャレンジで一番多く選ばれたのはあで、次いで「⑤、⑦が多く選ばれました〔円グラフ下〕。

●学校応募

参加していただいた学校のうち、全児童・生徒数に対する応募数の率が高い学校について、小学校では、優秀協力校として5校、準優秀協力校として4校、中学校では特別協力校として3校を選定し、環境教育にご活用いただく教材費を贈呈しました。

今年度、多くの児童・生徒の皆様に参加いただきましたが、来年度はさらに 増えるよう学校への周知を図ってまいります。 結果・冊子・ワークシ ートなどくわしくは 県センターHP へ→



ゼロカーボンチャレンジ! プラスチャレンジ 「私の 2050 ゼロカーボン」より

『2050 信州ゼロカーボンチャレンジ』(2021 年度版)では、「プラスチャレンジ」として、「2050 ゼロカーボンに向けて、あなたが現在取り組んでいること、これからやってみたいことやアイデアなど」を書いた作文(300 字以内)を募集しました。未来を担う子どもたちの素直な文章は虹のように輝いて見えました。550名を超える応募から7名の作文をご紹介します。



●東御市立滋野小学校 3年 笹井 陽平さん

ぼくは、ゼロカーボンチャレンジのことをべん強してから、**電気**をちゃんとけしたり、**水**を出しっぱなしにしないようにしたり、気をつけて生活しています。

ほかにも、お兄ちゃんが電気をつけっぱなしにしたら、ちゅう意をしています。



お母さんは、買い物に行くとき**マイバッグ**を持っていったり、**ごみの分べつ**や、**リサイクル**できるものは、リサイクルに出しています。

世界中の人にこのことを知ってもらいたいです。

そしてみんなが気をつければ、地球温だん化ぼう止が出来ると思います。 このままだと、地球がどんどんあつくなっていくので、みんなできょう力しない といけないと思います。

●千曲市立埴生小学校 4年 山本 夕夏さん

わたしのうちは、**太陽光発電**を使っています。わたしが大人になって家をかったら太陽光発電をつけたいと思いました。

電気を使いすぎないように、家族が同じへやですごしたいです。シャワーやじゃぐちの水などをだしっぱなしはやめる。近いところは歩くか自転車で行って、遠くにいく時は車だけでなく、バスや電車を使うようにすることも大切です。それから、のこさず食べることで**ゴミ**をへらすこともできる。わたしにできることはたくさんあります。

「**かんきょうマークかるた**」をしたら、たくさんのマークやいろいろな考えがあるということが分かりました。これからはこのマークをきにすることにしました。 わたしが大人になっても安心してくらせるといいです。









●須坂市立豊丘小学校 5年 佐藤 大凱さん



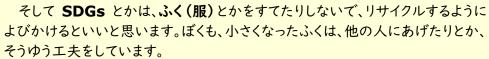


ごみ調べをしたら、マスクが大量にあって、マスクもリサイクルできないかなと 思いました。いがいとじどう車が捨てられていて、びっくりしました。





ぼくは、スーパーで有料ぶくろじゃなく**エコバッグ**でかっているけど、ゴミをへらすには、外の道ろとかで食べるのをきんししたり、さけさせたりすると、外にゴミがへると思いました。



好ききらいをするのはもったいない。大切なごはんが(すてられて)なくなってしまうので、好ききらいしないようによびかけたほうがいいと思いました。



●東御市立和 小学校 6年 竹内 日和さん



学校の総合の授業(かのうタイム)の時間に、 **SDGs** のことを調べて、どんなことが地球におこっているのかを知りました。それで私たちは、**竹**があまり使われていない(使っているところをあまり見ない)

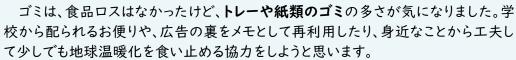


と思って、竹を使っていろいろなものを作りました。竹を使って、水でっぽう [写真右]やいかだ・オール[写真左]をクラスのみんなで作りました。

地球温暖化は私にとっては、最初は、どうでもいいか、知らないことが多かったけど、クラスのみんなと調べてみると、いろいろでてきてびっくりしました。どうでもいいと思っていたのが、もっと知りたいと思いました。そして、自分ができることをもっともっとやってみたいです。

●安曇野市立三郷小学校 6年 橋口 友彩さん

ゼロカーボンチャレンジをして、**家のゴミの量**が長野県の目標の量(1 日 1 人あたり 790g)より多いことや、(信州屋根ソーラーポテンシャルマップで調べると、)電気使用料が太陽光発電に変えると年間8万円も節約できることを知り、今まで気にしていなかった家族の水や電気の使い方が気になるようになりました。







あと、**家や車、家電製品などが太陽光で使えるようになれば良い**と思いました。 地球温暖化防止を世界中の人が同じ気持ちでやれば、ゼロカーボンが実現する だろうと思いました。

●茅野市立永明中学校 1年 五味 はなえさん

私は、2050 ゼロカーボンに向けて家族で、「**お家で地球温暖化防止チェックリスト**」のほとんどを意識して取り組んでいます。なぜなら、これからの未来は、私たちがつくっていくものだから、何年先じゃなくて今を大切にしたいからです。

今までは、**あかり**をつけっぱなしにしたり、**シャンプー**の量が少し多かったりしたから、家族みんなで直せるように意識して、今では、二つとも直せてきています。どんどん家の中での課題を見つけて、自分から自分で取り組めたらいいなと思います。

これからもみんなで気をつけ合って、ゼロカーボンチャレンジを成功させてみせます。



●中野市立高社中学校 3年 小山 実花さん



私は 2050 年 45 歳になっています。そのとき今よりももっと地球温暖化が進み、生活がしづらいのはイヤです。なので私は、大きなことはできませんが、身近でできることを取り組んでいます。例えば、スーパーにはエコバッグを持って行ったり、常に節水・節電を心がけています。また、学校では緑化委員長として緑のカーテン作りの企画をたて、あさがおを植えました。こうした取り組みが少しでも役立つとうれしいです。

まだ、取り組んだことのないことでやってみたいことがあります。 それは、**バナナの皮からプラスチックを作る**ことです。私はよく バナナを食べるので、このことを知ったときとても興味を持ちました。



ゼロカーボンナビゲーター養成講座 全日程終了

長野県センターは 1月 25 日、ゼロカーボンナビゲーター養成講座第 4 回(最終回)「つたわる伝え 方」をオンラインで開き、意識をそっと一押しするという手法「ナッジ」の活用について理解を深めま

した。講師は中部大学中部高等学術研究所国際 ESD・ SDGs センター研究員の原理史氏 [写真右・2 段目左]。 手元に用意したチラシが"伝わるチラシ"かどうか、10 項目で自己評価するワークショップも交え、「伝える場の 作り方と仕掛けを工夫し、ナッジという仕掛けも活用を」 とまとめました。受講者からは「ゼロカーボンに向け、 まずは自分でできることから少しずつ取り組み、会社に 取り込みたい。社内教育資料でもナッジを意識したスラ イドづくりを心掛けたい」と感想が寄せられました。





養成講座は昨年9月から始まり、脱炭素社会づくりを担い、 地球温暖化防止活動推進員となりうる、ゼロカーボン実践の ナビゲーター養成が目的です。気候変動や省エネ・再エネ、気 候変動と防災などをテーマに全 4 回のオンライン連続講座の ほか、デジタル地球儀「触れる地球」体験講座〔写真左〕も実 施。製造業の企業担当者など計40人を超える方々が受講しま した。全4回の受講者には修了証をお送りします。

★第4回講座で紹介された「ナッジ活用ガイド」「ナッジ活用チェックノート」は、一般社団法人環境創造研究センター のホームページ(https://www.kankyosoken.or.jp/issue.html) からダウンロード可能です。



SDGs 時代のゼロカーボンと環境保全活動



環境カウンセラー(環境省認定) 太谷優子

以下 2 つの素朴な疑問です。

1.ゼロカーボン≒カーボンニュートラル

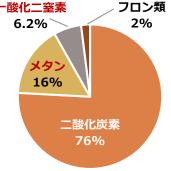
ここでカーボンとは CO2の C=炭素とのこと。

私は、はじめてゼロカーボン(脱炭素)と聞いた時「炭素がゼロになっ たらどうしよう」と思いました。炭素は有機物を作る元素で、生物を構成 する重要な役割も担う物質だからです。

カーボンニュートラル=温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること、 との説明(環境省 HP)も、地球温暖化の原因である温室効果ガスには炭 素化合物でない気体も含まれます [図参照] ので、温室効果ガスニュート

ラルというのが適切な言い方だと思います。 2.温暖化対策と原発

CO₂削減対策として、原発政策が進んでいるということに憤りを感じ ます。確かに、COP26で化石賞を受賞してしまった日本で、化石燃料に 頼らずに電力を賄うためには、今のところ原発も必要かもしれません。



「出典]IPCC第5次報告書より 人為起源温室効果ガス総排出量 に占めるガス別排出量の内訳 (CO₂換算ベース) 2010年の割合

しかし、私は「菜の花プロジェクト」に関わり、福島の方々が、原発事故後に大変ご苦労されたこと も目の当たりにしてきました。核のゴミ問題も未解決のままに原発を推進して良いのでしょうか?

長野県気候危機突破方針でも、まずは**省エネ**、次に**再生可能エネルギー拡大**等の戦略的シナリオが策 定されております。SDGs ウォッシュ*とならぬよう、皆で知恵を出し合って行動していきたいですね! ※SDGs に取り組んでいるように見せかけること



長野市センター 公式 Twitter はじめました @nagano4ecomame